第103号1月１０日発行

みなみかぜ

医療法人社団 青優会
南小樽病院

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます 。

昨年も当院をご支援いただき心から感謝申し上げます。昨年は3.11の大震災津波、さらに原子炉事故と引き続き何かと心落ち着かない一年間でしたが今年は皆様にとって良いお年でありますように願っております。

地震や津波といった自然の力の前に、我々人間は無力感を募らせるものでありますが、もともと人間も自然の一部でありますし、自然の支配者では決してありません。科学技術の発達によりあたかも人間の力と英知で自然の上を支配しているような錯覚を、あの震災はものの見事に壊してしまいました。さらに医療も科学技術の一部であり、その進歩は人間の生と死をも支配できるような錯覚を私達に与えてきました。しかし生と死において、特に死に向かい合う時に覚える医療技術の無力感や、生命の終わる時期を支配する自然の流れを目の当たりにすると、それもまた大きな自然の一部であり、人間が支配したりすることなどおこがましい事であることに気がつきます。人間はいつか、自然が定めた命がついえる時期に向かい日々を生きている訳です。そして、生きることがその人個人のものであるならば、死もまたその人のものだと思います。

どのようにして終末期を迎えるかという議論がこのところ様々な形で起きてきています。胃瘻や中心静脈栄養を行うか否か、延命的な治療を望むのかどうか。それらを生前に決めておくことは、本人の意思が明確であったとしても、ご家族にとっては苦渋に満ちた決断を迫られる事が多々あるでしょう。医療機関にお任せする事もあるでしょう。当院もこのような終末期を迎えられている患者様にとって、どのような医療技術の看護、介護を提供させていただくかを、今年は今まで以上に正面から捉え直し皆様を交えたより深い話し合いの下に決めていくつもりです。終末期医療の論議はますます深刻な事として我が国に湧き上がってくると思います。

新年早々から死を見つめた話ですが、明日は我が身であります。どんな死に方を自分は望むのかを考える機会として新年を捉えることも、必要ではないでしょうか。

皆様にとって、実りある一年になりますよう心からお祈り申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。

理事長　大川 博樹

みなみかぜ教室のお知らせ

今年最初のみなみかぜ教室は、2月25日(土)に行います。
講師は理事長 大川 博樹が担当致します。
表題は、来月のみなみかぜに掲載いたします。
また、院内にもポスターを掲示いたしますので、
そちらもご覧下さい。皆様のお越しをお待ちしております。

平成23年
中川和子さんクリスマスコンサート

毎年、恒例の中川和子さんのクリスマスコンサート。
平成23年12月21日(水)14時から1階デイルームにて行いました
クリスマスソングを中心に、聴きなれた曲も加えて演奏をしていただき、患者様も手拍子をされるなど、楽しまれているご様子でした。
「きよしこの夜」を、患者様を中心に合唱する事もできました。
お忙しいところ、沢山の方にお集まりいただきましてありがとうございました。

「行事委員会からのお知らせ」

今月中旬より、2月3日
節分の飾りつけを行います

2月中旬より、3月3日
おひな祭りの飾りつけを
行います

通所すまいる 1月行事予定

歌謡ショー
1月10日(火)　大川理事長
12日(木)　矢野病院長
13日(金)　山路次長

おやつ週間(ベルギーワッフル)
1月16日(月)～21日(土)

朗読教室(田中・石川講師)
1月18日(水)

そば打ち(須藤調理師)
1月19日(木)

算数教室(須藤講師)
1月30日(月)

1月の土曜外来について

1月7日	大川
14日	矢野
21日	大川
28日	宮沢
2月4日	大川

発行：医療法人社団　青優会　南小樽病院
事務部　本間・須野